

# 平成30年度 食品スーパーマーケット調査結果

## 経営上の問題は「労働力の確保」が3年連続でトップ！

静岡市内の食品スーパーマーケットの現況を把握し、今後の店舗運営の参考にしていただくため、前年度の調査内容を一部見直し、実態調査を実施した。  
 (協力：静岡大型店スーパーマーケット連絡会)

◆調査時期 平成30年6月

◆調査対象 静岡市内に店舗をおく食品スーパーマーケット111店

(※売場面積250㎡以上の店舗)

◆調査方法 郵送によるアンケート方式

◆回答店舗 87店(回答率78.4%)

### 表面化している

### 経営上の問題について

現在、表面化している経営上の問題については「労働力の確保」が67.8%と約7割を占め、3年連続の第1位となった。

「価格競争の激化」が52.9%で第2位、「他業種(コンビニ、ドラッグストア、ホームセンター等)との競合」

(表1)

順位		問題の内容	割合(%)
平成30年度	平成29年度		
1	1	労働力の確保	67.8
2	2	価格競争の激化	52.9
3	4	他業種(コンビニ、ドラッグストア、ホームセンター等)との競合	41.4
4	3	人件費の増加	31.0
5	10	顧客の他地域への流出	27.6
6	6	近隣への同業店の進出	19.5
7	5	店舗の老朽化	18.4
8	7	消費者ニーズの変化	13.8
9	8	客単価の低下・低迷	9.2
	9	仕入コストの上昇	
11	11	駐車場の確保難	4.6
12	—	宣伝広告費の増加	1.1

が41.4%で第3位と、価格競争・競合の激化が雇用に次ぐ重要な問題となっている。特記すべき問題点として、前年度第10位(12.2%)であった「顧客の他地域への流出」が第5位(27.6%)と順位を上げ、固定客の囲い込みに苦慮していることがうかがえる。

(表1)

### 経営上の問題点に対する対応策について

経営上の問題点に対する対応策は「サービスの見直し」と「経費削減の推進」が共に74.6%で第1位となった。以下「仕入調達の見直し」50.7%、「他社との価格比較の徹底」31.0%、「プライベートブランド(PB)商品の充実・構成比の引き上げ」29.6%となっている。(表2-①)

サービスの見直しの具体的内容は「鮮度チェックの徹底」が59.2%で

最も多く、以下「惣菜部門の強化」42.3%、「支払方法の多様化」25.4%の順となった。(表2-②)

経費削減の推進の具体的内容は「人件費」が49.3%と最も多く、以下「広告宣伝費の見直し」33.8%、「省エネ機器の導入」29.6%の順となった。(表2-③)

(表2-①)

順位		対応策の内容	割合(%)
平成30年度	平成29年度		
1	1	サービスの見直し	74.6
	2	経費削減の推進	
3	3	仕入調達の見直し	50.7
4	5	他社との価格比較の徹底	31.0
5	4	プライベートブランド商品の充実・構成比の引き上げ	29.6

